

# 2017年度 環境活動レポート

2018年5月31 作成

## 1. 環境方針

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、次の通り基本方針を定める。

### [基本方針]

- 工場生産活動運営に関係する国内の環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守すると共に、さらに可能な範囲で自主規制を制定し、一層の環境保全に取り組めます。
- 事業活動を通じて汚染防止、廃棄物の低減、リサイクルの促進、省エネルギーを重点とした下記の項目について継続的な改善を進めます。
  - 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。
  - 事業設備から、機械作動油及びプラスチック原材料の漏洩防止に努めます。
  - 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物排出の削減に努めます。
- 事業設備及び、事務所に係わる天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）などの使用量削減に努めます。
- グリーン購入を積極的に推進します。
- 工場の全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。
- 工場間の連携を密に、海外メーカに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組めます。
- 環境方針及び環境活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日：2011年4月25日

株式会社シントー  
代表者

横 瀧 勉

## 2. 対象範囲

認証登録範囲は東京本社及び山形工場の全ての活動  
(活動期間 2017年4月1日～2018年3月31日)

## 3. 組織の概要

### ■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横 瀧 勉

### ■所在地

東京本社 東京都足立区谷中5丁目3-12 山形工場：山形県新庄市福田字福田山711-54  
T e l : 03-6802-6565 Fax:03-6802-6577 T e l : 0233-22-6557 Fax:0233-22-9559  
URL http://www.sintoh.co.jp

### ■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

統括責任者 代表取締役 横 瀧 勉  
事務局担当者 森 奈穂子 (東京本社) 富樫 宏二 (山形工場)

### ■事業の内容

東京本社 山形工場 : プラスチック製品の製造 (射出成形及び組付け)

### ■事業の規模

2017年度 活動規模	単位	東京本社	山形工場
生産量	t	98	66
出荷額	百万円	438.79	295.36
従業員	人	3	30
床面積	m <sup>2</sup>	161.54	2,301.28

### ■沿革

1931年	8月	東工舎創立
1989年	5月	山形県新庄市に敷地18,327m <sup>2</sup> (5,553坪) を取得 (現：山形工場)
1995年	12月	(株)東工舎 (現：東京工場) と(株)シントー (現：山形工場) が合併して(株)シントーとなる
2000年	11月	株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得
2006年	11月	エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (山形工場)
2007年	9月	エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (東京工場)
2008年	8月	ISO9001品質マネジメントシステム認証取得 (東京・山形工場)
2009年	9月	エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合 登録番号：0000963
2011年	11月	ISO9001：2008認証更新 審査登録証 Q1295
2017年	12月	ISO9001：2015認証更新 審査登録証 QMJ：0021
2018年	1月	本社を足立区に移転、生産拠点を山形工場に移設

4. 環境目標 ・ 環境目標（中長期・年間）（2018年4月1日制定）

中長期目標	2018年度から2019年度は数値の変動がある為、削減目標は設定せず、維持管理とする
	2020年度は新たな環境目標・活動計画を作成し、環境負荷削減活動を行う
2018年度目標	2018年度は削減目標は設定せず、維持管理とし、活動基準となる数値を現状調査する

5. 環境活動計画 活動計画 具体的実施項目（目標達成の手段）

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 電力使用量の削減  | ・ 自社、省エネルギーの遵守、成形機の効率的稼働、デマンドの設定維持、設備の見直し       |
| 2 廃棄物排出量の削減 | ・ 廃棄物の分別、処理の徹底、紙類の再使用化及び排出低減、不良品低減による廃プラ排出削減    |
| 3 水道使用量の削減  | ・ 節水全般、設備の漏水点検、水道使用量の管理、設備の見直し                  |
| 4 CO2排出量の削減 | ・ 電気、A重油、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。ガソリン使用量の削減、エコドライブの推奨 |
| 5 グリーン購入推進  | ・ 事務用品、備品等エコ対象品を優先的に購入する                        |
| 6 品質改善活動の達成 | ・ ISOの目標管理表（QMS改善活動）に基づく活動により品質改善・不良削減を行う       |
| 7 A重油使用量の削減 | ・ エコキュート設置により、残りのA重油は焼却の為冬季に使用する。 (山形工場)        |

6. 環境目標の実績 活動計画の取組結果とその評価

2017年度年間目標	2017年度は数値の変動がある為、削減目標は設定せず維持管理とする
------------	-----------------------------------

<東京本社> 2017年度の実績・評価（期間：2017年4月～2018年3月）

No	取組項目（年間）	単位	2016年度	2017年度	評価	主な理由
			実績値	実績値		
1.	電力使用量	千kwh	320.2	290.7	○	デマンド管理を継続、エアコン稼働開始時間を守った。移転・解体の為12月より生産活動はなく、電力使用量が削減された。
2.	廃棄物排出量 単純焼却等	t	4.1	43.6	○	移転・解体の為、産廃量は増加したが、法令を守り産廃処理・リサイクルを実施した。
3.	上水道使用量	m3	256	207	○	水道管破損や水漏れ等なく、節水が守られた。移転により人数が削減された
4.	CO2排出量	t-co2	189.3	171.6	○	移転・解体の為12月より生産活動はなく、電力使用量・ガソリン使用量が削減された。
5.	グリーン購入	登録件数	99	93	○	環境対応品への切り替えを進めた。旧登録分・重複を削除した為登録数が減り、移転に伴い在庫削減で購買率が減少した
		購買率	64.9%	54.6%		
6.	品質改善活動（ISO実施計画）の達成	%	79%	68%	×	本社工場移設により部番点数が減り不良発生率が増えるが不良に対して対策を打っている

※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油の合計とし、H27年11.30公表の東京電力排出係数0.505kg-co2/kwhを使用する。

※化学物質は使用していない。

<山形工場> <<評価基準>>受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高当たり（売上百万円あたりの使用量・排出量）で換算し結果を評価した。

項目	単位	2016年度	2017年度
売上高	百万円	326.75	295.36

No	取組項目（年間）	単位	2016年度	2017年度	評価	主な理由
			実績値	実績値		
1.	電力使用量	kwh	541,306	612,638	×	自動機で24時間稼働する事が増えた
		kwh/百万円	1.656	2.074		
2.	廃棄物排出量 単純焼却等	Kg	5,680	10,110	×	MIXダンゴリサイクル中止の為と機械増設によるスペース確保により出た廃棄物の為
		kg/百万円	17.38	34.23		
3.	上水道使用量	m3	1,563	1,422	○	成形機の水漏れにすぐに対応して修理をしている。
		m3/百万円	4.78	4.81		
4.	CO2排出量	kg-co2	326,995	363,077	×	成形機の台数が増え、電力が増えたが、ガソリン使用量は削減された
		kg-co2/百万	1000.75	1229.26		
5.	グリーン購入	購入件数	38	67	○	引続き購入時に検討する。
		購買率	70.1%	54.0%		
6.	品質改善活動（ISO実施計画）の達成	%	79%	68%	×	本社工場移設により部番点数が増え不良発生率が増えるが不良に対して対策を打っている
7.	A重油使用量（売上高換算しない）	L	3,285	3,205	○	エコ給湯機設置により、使用量は昨年度より削減された。

※二酸化炭素排出量は、電力、ガソリン、灯油、A重油の合計とし、東北電力排出係数H27年11.30公表0.571kg-co2/kwhを使用する。

（売上百万円あたり使用量）

※化学物質は使用していない。

## 7. 次年度の取組内容

＜東京本社 山形工場＞

2018年度年間目標 削減目標は設定せず、維持管理とする。活動の基準となる数値を現状調査する

※2017年12月より東京の機械設備を山形工場に移設し新倉庫を含め設備が増加した。

東京本社は2018年1月に足立区に移転し、旧本社は解体処理された。

新しい設備環境等を踏まえ、活動の基準となる数値、取組を決定する為の活動を実施していく。

環境負荷削減活動として

- ・各資料、帳票類の変更・訂正・追加箇所を調査して作成、保管掲示する。
- ・エコ委員による月1回の社内パトロールを実施し、活動の確認・改善箇所の早期発見にあたる。
- ・工場移設に伴い、環境活動実績が大きく変動するのでエコ会議を含め、早めの連携で対応していく。
- ・各設備整理に伴い、廃棄物の増加が予定されるので、分別基準にそって正しく廃棄リサイクルする。
- ・作り込み・仕入先変更による不良・廃棄物の増加にならないよう環境方針にそって取り組んでいく。
- ・設備の仕様を調査確認しデータ化してデマンド管理の効率良い設定を調査する。  
使用時電力量（成形機 エアコン等） 室温調査（エアコン使用時夏季冬季）等
- ・具体的実施項目は前年度同様とする。

※ 東京本社は設備環境共、縮小されているので、日々の業務内で活動し調査を推進する。

## 8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2017年度の活動報告を受け、環境活動の集計数値データの考察については、依然として変わらない方法でデータを録り、側面データも計測せず、ただ数値の裏付けもなく考察と言うより、単なる憶測を述べたに過ぎない。去年も述べたが、そもそもエコ活動は何の為に行っているのか。社員其々が地球環境の為、少ない資源で効率良く生産し、無駄な資源を消費しない事である。また資源の節約はエコ活動と共に生産コストの削減にも帰依する。客先の生産拠点がコストの為、海外に生産移管されている昨今、エコ活動は会社の業績にも影響する。

報告を受けた中で山形工場は、相も変わらず数値を計測しているだけではないだろうか。対前年比と比較した時、数値の増減があった場合に、変化量に対して考察、精査して具体的な方策をとる様な事は行われているのか。2018年度は、すでに山形に集約され、東京は管理部門だけになり、エネルギー消費の大半は山形工場で消費される事となった。データの集計方法は今までと同じでよいか。変化点があった場合に、2ヶ月ごとの環境保会議で考察をたて具体的対策を打っていけるのか。予測と創造力を働かせ、実りのあるエコ活動の推進が行われる事を期待したいと思う。

## 9. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シントーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉碎機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油等	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)
家電リサイクル法	廃棄する家電4品		

※国・都・県・区・市関係の法規制等（改正）については、常に入手できるように1年毎に関係機関（都、区、監署、工業部会）のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

## 10. その他の活動 【東京・山形】

- ① ペットボトルキャップの回収（近隣信金回収箱） 年間2回（6.10月） 6.3Kg 2,709ヶ ワクチン3.4人
- ② 使用済切手回収（荒川区社会福祉協議会） 2017年度回収 12/7 240g

※ ①②共に2018年度より個人回収による、社会貢献に移行する。